

かがわ産業情報 21

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

成功への道筋が見えてくる！
かがわの産業界の今を届ける

TOP NEWS

理事長が行く

第32回

芦原科学大賞受賞者

インタビュー

特集

香川県で起業する人を応援！

① 起業等スタートアップ支援補助金を
活用した起業家を紹介

② ネクスト香川・ITスクエア
入居者の募集 ~香川県内起業家の皆様へ~

かがわ発！元気創出企業

「株式会社FUJIDAN」

避難所でも快適に過ごせる強化段ボール製災害用品



公益財団法人

かがわ産業支援財団

KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

<https://www.kagawa-isf.jp>



第32回 芦原科学大賞受賞者インタビュー

「第32回 芦原科学賞」で大賞を受賞（テーマ：高精度で多機能なオートレンズメータ「DLシリーズ」の開発）された株式会社レクザムの高嶋氏、島氏、鎌野氏、小川氏と推薦者である住田副社長を訪ね、近藤理事長が開発までの苦労話やこれからの抱負、展望などについてお話を伺いました。

株式会社レクザム
香川工場（高松市）

1960年の設立以来、幅広い技術を活かし多様な分野に挑戦。エレクトロニクス応用製品では、マイコンボードの設計・製造をはじめ、眼科医療機器や基板外観検査装置など自社開発製品に注力。眼科医療機器は世界100カ国以上で使用され、高度管理医療機器の開発も推進。社員が一体となり、ものづくりに取り組める環境も強みです。好奇心と挑戦心を大切に、技術革新を続ける「開発好奇心集団」として未来を創造します。



第32回 芦原科学賞贈呈式



芦原科学賞贈呈式の大賞受賞者記念写真
（左から小川氏、鎌野氏、高嶋氏、住田副社長、同行者）



近藤理事長

はじめに

理事長：この度は、芦原科学大賞の受賞、誠にありがとうございます。早速ですが、あらためて受賞された感想やお気持ちをお聞かせください。



高嶋氏

高嶋氏：新しい製品を開発し、お客様から良い評価をいただくことはうれしいですが、賞をいただいたことでうれしさが倍増し、周りの人も大変喜んでます。



島氏

島氏：受賞によって今までの成果が認められたことが一番うれしく思います。また、周りの反響が大きく、親が受賞を知ったのも知り合いが新聞を見て連絡をくれたからであり、大変注目される賞であることを実感しました。



鎌野氏

鎌野氏：親戚や知り合いから新聞を見たとき連絡があり、多くの方に関心を持ってもらえる賞を受賞できて驚きとうれしさを感じています。



小川氏

小川氏：家族だけでなく近所の人なども新聞を見たとき声をかけてくれ、受賞できて本当によかったと感じています。



住田副社長

住田副社長：一言で「やった!」という感じです。医療機器は製品寿命が長く、販売台数や売上げも伸びてきたところで本賞に応募しました。本製品は市場での人気が高く、ブランドが信用されて世界中で受け入れられており、また、今回、後ろ盾として大賞をいただき本当にありがとうございます。

CONTENTS

01 TOP NEWS

理事長が行く 第32回 芦原科学大賞受賞者インタビュー

03 特集

香川県で起業する人を応援!

起業等スタートアップ支援補助金を活用した起業家を紹介

06

ネクスト香川・ITスクエア

入居者の募集 ~香川県内起業家の皆様へ~

支援事例紹介

INPIT香川県知財総合支援窓口支援事例の紹介

07 香川県よろず支援拠点支援事例の紹介

08 令和7年度 成長型中小企業等研究
開発支援事業(Go-Tech 事業)に採択

09 財団の活動報告

第30回 機械要素技術展[東京]に出展

09 財団からのお知らせ

「西日本合同広域商談会2026」受注企業の募集

10 香川大学大学院地域マネジメント研究科公開講座

「地域の中小企業と経済活性化」受講者の募集

11 INPIT香川県知財総合支援窓口令和7年度知的財産セミナーの開催
INPIT香川県知財総合支援窓口の紹介12 「知財マッチングinかがわ 2025」参加者の募集
国際取引相談窓口の紹介

「微細構造デバイス研究開発フォーラム
令和7年度セミナー・見学会」参加者の募集

13 かがわ発! 元気創出企業

株式会社FUJIDAN

「避難所でも快適に過ごせる強化段ボール製災害用品」

かがわ産業情報21

2025年10月 vol.98 発行(年4回発行)





オートレンズメーター 「DLシリーズ」

- 眼鏡レンズの度数を
高速かつ高精度に測定
- 複雑な度数分布の
遠近両用レンズの測定も容易
- 紫外線やブルーライト透過率の
測定も可能

技術開発のきっかけや経緯

理事長：今回の技術開発に当たってのきっかけや経緯についてお聞かせください。

高嶋氏：一世代前の製品を出した時点から、お客様のニーズはどんどん変わっていき、新しい機能の追加などリクエストがたくさんありました。そこで、どうすれば新しい機能を追加できるかや他社製品より優れた機能を搭載できるかなどをずっと考えて、やっと形にして出せたのが本製品です。

開発の成果

理事長：今回の開発の成果や、これまでの製品との違いなどを教えていただけますか。

高嶋氏：一番大きな違いは、累進多焦点レンズの加入度（遠近両用レンズにおける遠方視と近方視の度数の差）の測定に関するものです。最近は加入度を小さくしたレンズが流行っており、できるだけ小さい加入度を測定したいというニーズが強くなっています。一般的に加入度が小さくなると計測誤差が大きくなりますが、本製品は加入度が小さくても正確に測定でき、また、追加機能を搭載しながらもよりコンパクトにすることで、眼鏡店などにも置けるものとなりました。

開発時の苦労話

理事長：開発に当たり、苦労された点や大変だった点をお聞かせください。

島氏：加入度の小さいレンズを測定するにはソフトウェアの処理能力が必要になり、それに伴いハードウェアにも高性能な処理が求められます。ただ、コンパクトかつ価格を抑える必要があり、相反する条件のバランスをとって開発することが非常に苦労した点です。

鎌野氏：私はメカを担当しており、今回、小型化するためにレンズを押さえる機構と印点機構を一つにまとめているのですが、いかに使いやすくして小型化を実現するか、アイデアを考え出すところが難しく一番大変でした。

小川氏：私はソフトウェアを担当しており、画像処理対象を2重リングにしたことで画像処理範囲が広がったこととカメラの画素数が増えたことから計算量が増えて解析に時間がかかるようになったため、いかに高速処理するかに苦労しました。

仕事のやりがい

理事長：仕事のやりがいを感じるのとはどのようなときでしょうか。

島氏：ハードウェアは世代が上がる中で中身が一新するので、動かすまでは非常に不安であり、一回で正常に動作したとソフトウェア部門から連絡を受けたときは非常にうれしさを感じます。

鎌野氏：苦労して設計した試作機が正常に動作したときは大きな達成感を感じます。

小川氏：自分が思ったとおりに動作したときや、新しい機能について感謝されたときに役に立ててよかったと感じます。

住田副社長：世界中で使われる製品を自分たちで作るというのは普通ではあまり機会のないことであり、大きなやりがいを感じるとしています。

新製品への取組み

理事長：新しい製品の開発にも取り組まれていると思います。取組み内容や展望についてお聞かせください。

高嶋氏：全ての機能をフルレンジで測定できるようにはまだなっていないので、今後測定レンジを拡大していきたいです。また、病院内の他の機器とのデータ連携機能など、世界中からたくさんの要望が寄せられており、できるものから対応していきたいと考えています。

財団への期待

理事長：地元の産業支援機関である当財団に対して期待していることなど、御要望がありましたらお聞かせください。

高嶋氏：新しい機能を引き続き求められており、それらを実現するために自社だけでは時間がかかるので、技術を紹介していただくような機会を設けていただければ非常に助かります。

理事長：当財団では知財マッチング事業や樹脂・金属部品の加工会社の紹介などもやっており、お声がけいただければお手伝いできることもありますし、Go-Tech事業などいろいろな支援事業もありますので、これからも当財団を十分に活用していただければと思います。

住田副社長：本賞の第1回の大賞受賞製品を開発するきっかけとなったのは、県の異業種交流団体のメンバーからの紹介でした。その際に新しい分野のものづくりに挑戦してアイケア機器の業界に入り、その後、製品のバリエーションを増やしていきました。本賞への応募候補となる製品もあるので、今後、更に販売実績を積み、応募も考えたいと思います。

理事長：本日は素晴らしいお話をありがとうございました。これからもチャレンジ精神を持って挑戦を続けられ、貴社が益々発展されることを大いに期待しております。



懇談風景



インタビューを終えて記念撮影
(左から高嶋氏、住田副社長、近藤理事長、島氏、鎌野氏、小川氏)

香川県で起業する人を応援！

01 起業等スタートアップ支援補助金を活用した起業家を紹介

おにぎり処 田んぼ

代表者: 細谷 千恵

住 所: 坂出市王越町木沢572-1

instagram: @onigiri_tanbo

LINE ID: @376klwtf



坂出市王越町に自家生産したお米等を使って握るおにぎり屋をオープンしました。王越町は五色台から流れてくる綺麗な水や、地中海性の気候等、素晴らしい地域資源に恵まれています。が、少子高齢化が著しく、限界集落となってしまう農業の担い手不足が深刻です。飲食店も少なく、来ていただいても長く滞在していただく施設が不足しています。農業をしながら、飲食店を運営し、地域の活性化に繋がればと思い、事業を始めました。



当初の予定どおりに進まず、困ったこと

オープンした直後は、インスタグラマーがお店の記事を投稿してくださった影響で、予想よりはるかに多いお客様が来店されました。ただ、受け入れる体制が整っていないで大変でした。10席のカウンター席を午前11時から午後3時までの営業時間で4～5回転という時期があって、優先順位も分からず、お米は何合炊けばいいのか？あれもこれも足りない！お皿が足りない！という感じで慌てていました。今は落ち着いてきたので、最初にするべきだった広告・宣伝を今後はしっかりしていきたいと思います。

起業等スタートアップ支援補助金を受けてよかったこと

こうやって補助金を受けたことによって取材に来ていただくこともありがたいですし、補助金の要件の一つに入っていた「かがわ創業塾」を受けたことも良かったと思います。補助金の要件になっていなければ、なんとなく開業していたと思いますけど、創業塾を受けることによって相談先や繋がりができたのが良かったです。伴走支援員の先生からは、今でも連絡をいただいて補助金の情報を教えてもらったり、相談させていただいています。



今後の目標

飲食業なので、季節によって波があると思いますが、地域のためにもお店が継続していくことが大事だと思います。そのためには、お料理の質も上げていきたいし、経営も始めたばかりなので地に足を付けてやっていけたらいいなと思います。あと、今はお店の方が忙しいですが、農業の方も安定してやれるような状況を作っていけたらと思います。

これから創業する人に向けて

私は、思ったらやっちゃえ！というタイプで、事業をやり始めて、うまくいかなければ軌道修正すればいいと思います。何かを始めるときは、その気持ちが大事だと思います。最初の一步を、勇気を出して踏み出してください。

起業等スタートアップ支援補助金とは

県内で社会的事業分野において、起業、事業承継、第二創業を行う者に対して、その起業等に要する経費の一部を補助(上限200万円、補助率1/2)しています。例年4月上旬1次募集、7月上旬2次募集。

ねこばんtrip

代表者:大庭 裕介
住 所:小豆郡土庄町甲5165-234
丹生西港駐車場
電 話:050-7115-1535
HP:<https://necovantrip.jp/>
E-Mail:info@necovantrip.jp
LINE ID:@363ofusm



小豆島は観光地として国内外から注目される一方で、交通手段の不便さや宿泊施設不足を身をもって感じていました。それらの問題を解消したいと思い、俳優から転身して小豆島でキャンピングカーとしても利用できるレンタカー屋を始めました。普通のレンタカーと違って、車中泊ができますので、島の豊かな自然や魅力的な風景を来ていただいた人に感じてもらいたいと思います。

当初の予定どおりに進まず、困ったこと

2024年12月にホームページを開設しましたが、ウェブサイトの検索の上位に来ず、認知されなかったので予約が入らず苦しかったです。お客様の予約がない期間が続いたので、翌年2月から土庄港で声かけを始めました。そのうちに、レンタカーを利用してくれた台湾の方がSNSに投稿してくれて、口コミが増え、外国人の方の利用がかなり増えました。

また、島では繁忙期と閑散期の差が大きく、瀬戸内国際芸術祭の開催期間中はネット上で予約がいっぱいになっていても、問い合わせの電話がかかってくるほどでしたが、閉幕すると一気に予約が減りました。今後は、英語が話せるので、外国人向けの観光ガイドを行って、事業を広げていきたいと考えています。

起業等スタートアップ支援補助金を受けてよかったこと

補助を受けられたことは本当にプラスだったと思いますし、なければもっと苦しかったのだと思います。また、伴走支援を受けて事業計画書を作成しましたが、それがなければ採択されていなかったと思います。移住者が事業を始められるか不安でしたけど、島で事業をしている先輩でもある伴走支援員の存在と適切なアドバイスがありがたかったです。



今後の目標

まずは、小豆島をたくさんの方々に好きになってもらいたいです。夜空の星や二億五千万年前の地層、隠れ名所みたいなところをどんどん見て感じて欲しいです。今後は、車椅子の方でも乗れるようなレンタカーや、災害時の復興支援としてキャンピングカーを活用したいです。島の人たちの足になって、豊かな生活を送れるように還元したいと考えています。

これから創業する人に向けて

僕は起業等スタートアップ支援補助金を活用しましたが、気持ち的な余裕に繋がったと思います。補助してもらうことによって自分が想定してやりたいと思っていたこと以上のことができました。また、伴走支援員に自分の事業を話すことで、頭の中が整理されて事業が進んでいくように思いましたので、財団の支援などを積極的に利用した方が良いと思います。

ふた あい
二藍

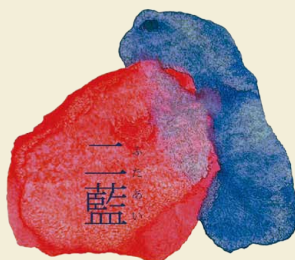
代表者:小泉 咲

住 所:小豆郡小豆島町神懸通甲526-1

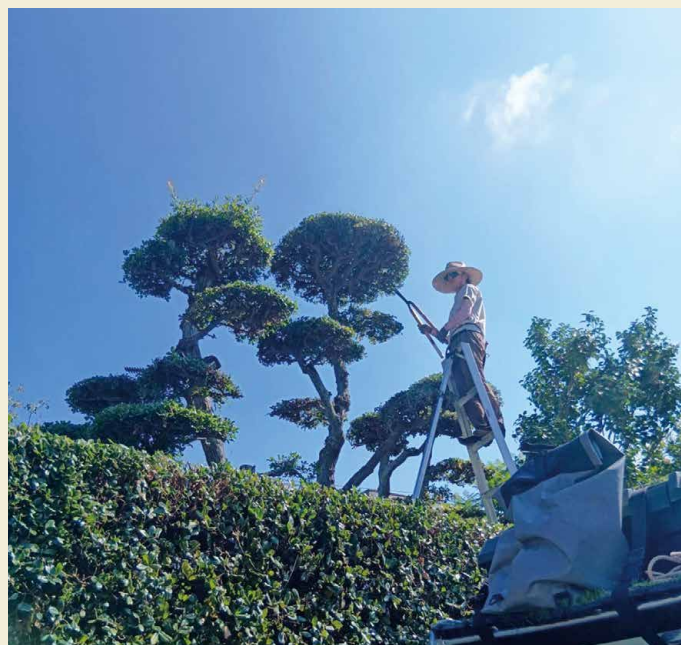
電 話:080-9572-4454

E-Mail:futaai.garden@gmail.com

instagram:@futaai.garden



小豆島で夫婦で造園業を始めました。島内は造園会社の数が少なく、高所での剪定作業に対応できる職人も数名しかいない一方で、高齢化や人口流出の影響で、管理が行き届いていない放置畑・空き家が増加しています。自身の造園技術によって、島内の景観の維持や、島民の方の庭木の剪定等の負担を減らすことの一助になると思い事業を始めました。主に民家や企業の庭、植栽地の手入れ、植栽、伐採、伐根、防虫剤散布、ツリークライミング、藤棚や竹垣等の作成、草刈等を行っています。

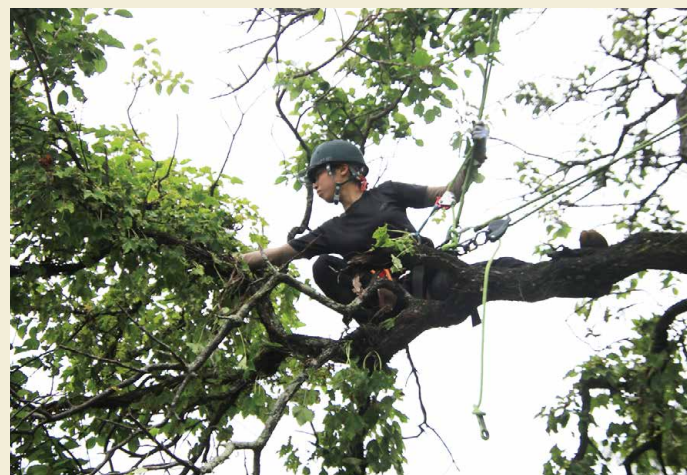


当初の予定どおりに進まず、困ったこと

大きく困ったことはなかったのですが、造園材料の仕入時の運搬にかかるコストが計画できていなかったという点がありました。また、元々東京で仕事をしてた時と土の種類や気候が違っていたので、植物に与える肥料の種類、使う道具、養生の強度、水分量等を小豆島に適應するように変えていかなければならないことに気づきました。

起業等スタートアップ支援補助金を受けてよかったこと

補助金を受けなければ買わないような機材を揃えることができ、仕事の幅がぐっと広がりました。補助金を受けなければ、「道具がないので、木を登って剪定することはできないです」と断っていた仕事もあったと思います。今は、こちらからいろんな提案をすることができています。また、財団の伴走支援員と繋がりができて、今ではお庭の手入れを依頼いただいたこともありますし、伴走支援以外でもお世話になっていて、補助金を受けて本当に良かったなと思います。



今後の目標

これからもきっちりと仕事を続けて、周囲に認識されて、信頼される業者になりたいと思います。たまに、御年輩のお客様と初めてお会いすると、こんなに若い人に任せて大丈夫?という反応をされてしまうのですが、仕事後は顔色も表情も明るく変わります。コミュニケーションを取りながら、お客様の御要望に寄り添って仕事をして、満足してもらいたいです。

これから創業する人に向けて

補助金を活用することで心に余裕ができます。やりたかったことを金銭的な理由でやらないということがなくなって、挑戦して良かったと思っています。あとは、(補助金の要件となっていた)創業塾に参加して知識も得ましたし、いろんな分野で起業する方の話を聞いて、面白かったです。一人で抱え込まず、不安なことは家族や友人等に頼って挑戦してほしいです。

入居者の募集 ～香川県内起業家の皆様へ～

ネクスト香川、及びITスクエアにおいて入居者の募集をしています。そのうち、ネクスト香川においては香川県が実施する、県経済を牽引するようなスタートアップを創出し、起業地としての香川の魅力をより一層強化するための「香川県スタートアップスクエア事業」を活用することができます。

創業後5年以内の事業者及び創業後5年を超え10年以内であって事業の多角化を行う事業者等を対象に、令和7年4月以降に起業家向けのオフィスに新たに入居する場合は、5年間使用料を減額(1年目:90%減額、2年目:70%減額、3年目:50%減額、4年目:30%減額、5年目:10%減額)しますので、是非、ご活用ください(※今回のITスクエアへの入居の募集は、スタートアップスクエア事業の対象外となります)。

ネクスト香川	募集 1室	ネクスト香川	募集 1室	香川産業頭脳化センタービル	募集 1室
一般型インキュベート工房 現在入居申請可能 新技術や新製品の開発を目指す企業や新規創業される方に最適なスペースを提供する県有施設 入居資格：創業5年以内かつ創業若しくは新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者又は情報処理関連事業の研究開発を行う者(詳細はお問い合わせください) 入居期間：3年間(条件を満たせば最長13年間まで延長可能) 部屋数：10室(約64～137㎡) 無料駐車場：部屋の大きさにより2台又は4台 賃料：1,560円/㎡・月(5年目まで)、1,870円/㎡・月(6年目～) 本事業により入居する場合は、申請により入居5年目まで所定の減額あり(減額を受ける場合の1年目156円/㎡・月) 共益費：なし 光熱水費：実費		情報通信型インキュベート工房 令和7年12月1日以降入居可能 情報処置関連事業を営もうとする企業等に活動の拠点を提供する県有施設 入居資格：利用を開始する時点において、情報処理関連事業を新たに営む者又は新たに営んだ日以降5年を経過していない者若しくは新分野へ進出しようとする者等(詳細はお問い合わせください) 入居期間：3年間(最長5年間まで延長可能) 部屋数：4室(約15～30㎡) 無料駐車場：各室1台 賃料：1,560円/㎡・月 本事業により入居する場合は、申請により入居5年目まで所定の減額あり(減額を受ける場合の1年目156円/㎡・月) 共益費：なし 光熱水費：実費 その他：インターネット無料接続		ITスクエア 令和7年12月1日以降入居申請可能見込み ITを活用した事業の創業、新分野進出、新サービスや新製品の研究開発などに取り組むためのスモールオフィス 入居資格：ITを活用する者であって創業5年以内の者又は創業後5年を超え10年以内であり事業の多角化を行う者(詳細はお問い合わせください) 入居期間：1年間(1年毎の延長で、原則最長5年間) 部屋数：11室(約6.5㎡) 無料駐車場：各室1台 賃料：20,950円/室・月(5年目まで) 学生は15,710円/室・月(同上) 光熱費及び共益費：賃料に含む その他：◎インターネット常時接続(賃料に含む) ◎各室に机及び椅子2脚が備え付け	

*各施設とも、入居希望月の前月下旬までにプレゼンテーションを伴う入居審査を行い、入居を決定します。

申込みに関するお問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391

各施設に関するお問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 施設管理部 施設管理課
 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-869-3700

支援事例紹介

INPIT香川県知財総合支援窓口支援事例の紹介

相談者:四国プランニング株式会社

企業紹介

四国プランニング株式会社は、広告印刷業や各種物品の製造・販売から不動産販売まで幅広く手掛ける企業です。その中で止水板や無人レントサイクルシステムの開発を行っています。

相談のきっかけ

現在販売している止水板の改良が行われた際、知財での保護が可能かとの相談を受けました。止水板や止水装置の構造を伺い、多数の技術的なイノベーションを実現されていてユニークな企業だと驚きました。同社の意気込みと発明プロセスへの理論、技術的な深い理解を実感し、特許出願支援を開始しました。

支援概要

止水板及び止水装置での技術的特徴について

で権利化するにあたり、特許出願から権利化まで専門家活用によるサポートを実施しました。同社が工夫した点について、従来技術と比較し特許出願のポイントとなる構成をアドバイスした結果、2件の特許権を取得しました。

止水板の形状については種々のバリエーションが考えられることから、外観デザインにおいて意匠出願を行うよう提案し、権利化まで支援を行いました。また、弁護士による契約書作成の支援に加え、香川県よろず支援拠点とも連携して支援を行っています。

支援成果

同社では特許と意匠を組み合わせる模倣を防ぎ、ブランド価値を維持しており、知財権の組合わせて製品を多面的に保護することができました。また、製造は契約書作成支援で契約内容を整理したうえで協力会社に委託することで、

小規模体制でのビジネスを可能とする運営シナジーが生まれています。

また、商流による売上げ増加で、今後の収益拡大が見込めると考えます。特に、都市部では水害リスクが高まっており、気候変動や自然災害の増加に伴い、防災対策としての止水板の導入を進めています。止水板市場を持続可能なビジネスモデルとして革新していくことを期待しています。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 INPIT香川県知財総合支援窓口
 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-802-3650

香川県よろず支援拠点支援事例の紹介

テーマ

SNSを使った集客

相談者

美容室ラジョール Fujiko

代表者: 中村 直美

住 所: 高松市太田下町2554-7
<https://www.rajo-rufujiko.jp/>

公式
LINE



課題の把握・設定

数年前に数百万円をかけてサイトを作成したが十分な成果が出ないため、リース契約が切れるタイミングでサイトを切り替えて、SNSも使って集客がしたいと同業の友人に相談したところ、当拠点を紹介いただきました。

まず現状を確認しました。

- 既存客300人に対して、郵送物で情報を発信していた(コストがかかるだけでなく、スタッフの時間も取られていた)
- サイトは、数年前に作ったままで、デジタルに強いスタッフもいない

簡単に使い、コストをかけないツールを使うことが急務だと判断し、課題を「SNS等を使った顧客のリピーター率向上と新規顧客に向けたアプローチ」として取り組むことにしました。

課題解決に向けた支援内容

デジタルツールのインフラを整えました。

- LINE公式(お客様とのやり取り)
 - ランディングページ(自社で更新できるサイト)
 - インスタグラム(新規顧客用情報発信)
 - Googleビジネスプロフィールを自社で管理
- 今まで1回の情報発信にかなりの郵送代がかかっていたものを、顧客の年代層に合わせて、「郵送物からデジタルへ」変更しました。情報発信を2分化し、デジタル世代へは、できるだけデジタルツールを使って業務の効率化ができるように努めました。

成 果

公式LINEを使い情報発信を行ったところ、初回の集客は20名(160名に配信)、成約率は12.5%に達しました(印刷物での情報発信ではほとんど集客に繋がらなかった。)

今まではコストが掛かっていたため、年に数回しか郵送できていなかったが、今では定期的に時間をかけず、自社で情報発信ができるようになりました。

また、インスタグラムやGoogleビジネスプロフィールを見ての新規顧客も増えてきました。

相談者コメント

LINEで予約や、予約の変更ができるし、LINEにヘアカラーを載せたらその色にとオーダーがあります。新しい商品を載せれば、買ってくれたり、月一の当店からのLINEのお知らせは100%に近い開封率で、お客様がチャットで返信をくれます。LINEが、お客様との距離を縮めてくれて、コミュニケーションが取りやすくなりました。



コーディネーターの紹介



川西 健雄

専門分野: IT利活用/WEB活用/ECサイト
ITコーディネータ

システム開発・ウェブ活用の会社を創業して19年目になります。「WEBを使ってどんなことができるの?」「SNSで集客ってどうすればいいの?」「通販したいけどどうやればいいの?」など最初の一步を踏み出すためのアドバイスができればと思っています。お気軽にお問い合わせください。

よろず支援拠点 公式LINEのお知らせ

よろず支援拠点も 公式LINEを活用しています。

セミナー開催案内など、積極的に情報を発信していますので、こちらからご登録ください!



お問い合わせ先

香川県よろず支援拠点 高松市林町2217番地15 香川産業頭脳化センタービル2F
 TEL.087-868-6090 FAX.087-869-3710 メール.yorozu@kagawa-isf.jp

令和7年度 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech 事業)に採択 (事業管理機関:財団)

Go-Tech事業は、中小企業等が研究機関等と連携して行う、事業化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発及び販路開拓への取り組みを最大3年間支援する事業です(経済産業省管轄)。

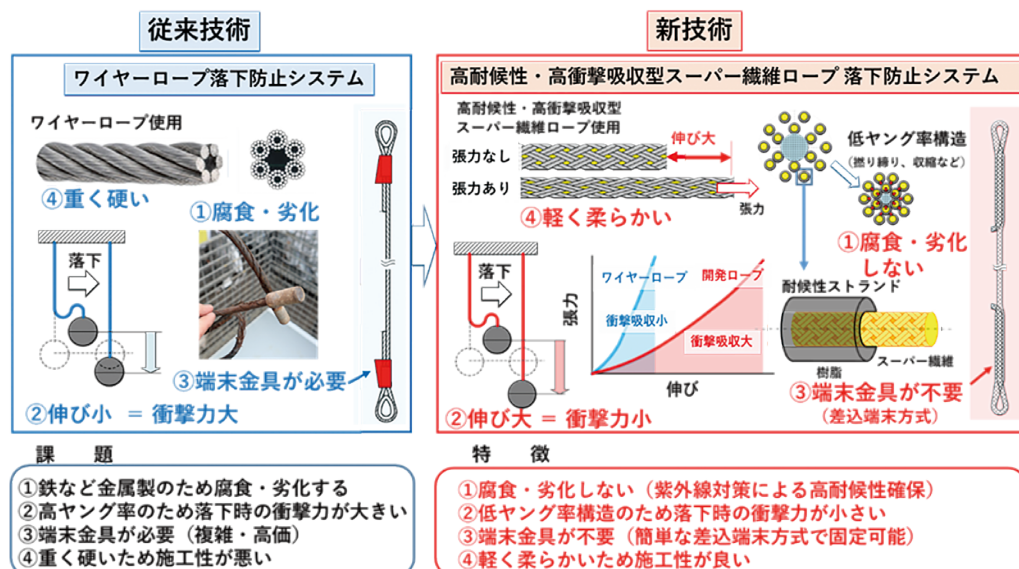
採択された事業

研究等実施機関 高木綱業株式会社・香川県産業技術センター

事業名:道路附属物等落下防止システム構築のための高耐候性・高衝撃吸収型スーパー繊維ロープの開発

研究開発の概要

高木綱業株式会社は、これまで高強度繊維ロープを用いて、トンネル内等屋内使用を前提としたワイヤーロープに代わる二重の安全対策技術の開発を行ってきました。本研究では、この技術を高度化し、香川県産業技術センターと共同で、道路構造物等の落下防止システムを構築するため、屋外使用に適した高耐候性・高衝撃吸収型スーパー繊維ロープを開発します。

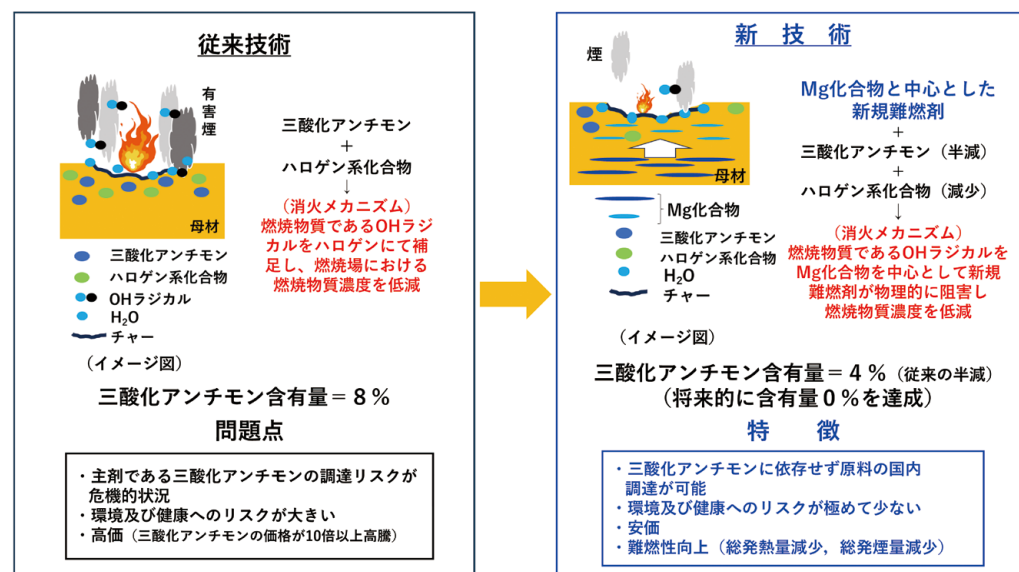


研究等実施機関 セトラスホールディングス株式会社・国立大学法人 京都大学・
国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学

事業名:三酸化アンチモン削減難燃剤の開発

研究開発の概要

難燃剤として広く使用されている三酸化アンチモンは、資源リスクから削減、あるいは代替する難燃剤の開発が課題となっています。セトラスホールディングス株式会社は、三酸化アンチモン削減技術を高度化し、国立大学法人 京都大学及び国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学の保有する技術を活用することで、三酸化アンチモン削減難燃剤を開発します。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

第30回 機械要素技術展[東京]に出展

香川県の主要な産業である、ものづくり基盤技術産業の振興を図り、成長分野等(エネルギー・環境関連、ロボット関連、自動車関連など)への進出を支援する取組みとして、日本最大級の専門技術展「第30回 機械要素技術展[東京]」(幕張メッセ)に、香川県ブースを出展しました。

- 会 期** 令和7(2025)年7月9日(水)～11日(金)
会 場 幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区)
来場者数 55,749人(同時開催展来場者を含む)
主 催 RX Japan(株)
展示会概要 軸受、ベアリング、ねじなどの機械要素や金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた日本最大級の専門技術展



技術展の様子

【出展者】

出展企業	所在地	出展物等
(株)コヤマ・システム	高松市	・「設備のドライブレコーダー 高速カメラでの挙動撮像と波形同期で問題の見える化を」等
サンコー(株)	高松市	・LOCK ONE ・モーションタイト 等
高木綱業(株)	高松市	・高機能繊維ロープ ・高強度型絶縁ロープ ・変形コーティングロープ ・複合化超高分子量ポリエチレンロープ ・静電気除去ロープ 等
高松帝酸(株)	高松市	・フッ素ガス表面処理品 ・フッ素ガス表面処理技術 ・繊維強化プラスチック材料接着前処理技術 等
(株)長峰製作所	まんのう町	・金属多孔質体・精密セラミック製品、マイクロハニカム ・ハニカム触媒、吸着材 等
橋本特殊工業(株)	高松市	・超硬合金チップソー 等
(株)プロテック	高松市	・高精度機械加工部品 (半導体製造装置関連、航空機関連) 等
明興産業(株)	丸亀市	・熱硬化性樹脂 「ベークライト、ガラスエポキシ等」の切削加工 等
(株)レクザム	小豆島町	・超精密絞り加工 ・微細微小プレス加工 等

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
 高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

財団からのお知らせ

「西日本合同広域商談会2026」受注企業の募集

西日本の13府県合同で開催する「西日本合同広域商談会」(※今年度から名称が「関西・四国合同広域商談会」から変更となっております)に参加を希望する受注企業を募集します。(10月中旬から募集開始予定)

【開催概要】

- 商談方法** 対面での直接面談方式(今年度はオンライン方式の商談会は実施いたしません。)
会 期 令和8年2月18日(水)、19日(木)
会 場 京都パルスプラザ2階(京都ビジネス交流フェア会場内)

【参加対象】

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県に拠点をもち、発注企業の求める技術に対応できる中小企業
 450社程度



昨年度の様子



【申込方法】

京都産業21 ホームページ内の「西日本合同広域商談会」ページよりお申し込みください。
<https://www.ki21.jp/matching/exhibition/shodankai/hacchu2026/>

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

香川大学大学院地域マネジメント研究科公開講座 「地域の中小企業と経済活性化」受講者の募集

当財団と香川大学大学院地域マネジメント研究科は、地域を担う人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による公開講座「地域の中小企業と経済活性化」を開講します。事前申込みによりどなたでも受講できますので、皆様の御参加をお待ちしております。

開催日 講座概要一覧のとおり

時間 18:20～19:50(90分間)

会場 香川大学 幸町南キャンパス
又信(ゆうしん)記念館1F 特別講義室(高松市幸町2-1)
※開催場所の講義室が変更になる場合があります。

開催形態 公開講座(地域マネジメント研究科の学生に加えて、一般公募の申込によりどなたでも受講できます。)

受講料 無料

申込方法 香川大学大学院地域マネジメント研究科HPからお申込みください。

申込先 香川大学大学院地域マネジメント研究科(高松市幸町2-1)
TEL:087-832-1955 FAX:087-832-1900
(祝祭日、大学の休校日を除く平日12:00～18:00)
HP:<http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp>



昨年度講義風景

【講座概要一覧】

	日程	講師	講義概要
第1回	令和7年10月7日(火)	公益財団法人かがわ産業支援財団 理事長 近藤 清志	地域活性化の政策と実践
第2回	令和7年10月21日(火)	株式会社菅組 代表取締役社長 菅 徹夫	今、建築に何が可能か?
第3回	令和7年10月28日(火)	株式会社中武商店 代表取締役社長 中武 義景	伝統食品は面白い。新しい風を求めている軌跡
第4回	令和7年11月4日(火)	株式会社メデュアクト 代表取締役/東京薬科大学薬学部 客員准教授/ 株式会社四国水族館開発 前代表取締役 流石 学	地方にゼロから価値を生む ー四国水族館の構想から開業までー
第5回	令和7年11月11日(火)	一般社団法人希少糖普及協会 代表理事会長 早川 茂	希少糖の産学官連携事業から商業展開への道のり
第6回	令和7年11月18日(火)	ユニコム株式会社 代表取締役社長 藤原 康雄	人を大切に経営 人生の素晴らしさを分かち合える経営を目指して
第7回	令和7年11月25日(火)	白川農場株式会社 代表取締役 白川 大輔、専務取締役 白川 洋子	香川県産にんにくの6次化農業を目指して
第8回	令和7年12月2日(火)	株式会社岡モータース/株式会社キャンピングカー クルー 代表取締役 岡 宏治	急成長を続けるキャンピングカー業界における、 岡モータースの強み
第9回	令和7年12月9日(火)	株式会社ハイレゾ 代表取締役 志倉 喜幸	地方補助金とベンチャーステージの因果関係
第10回	令和7年12月16日(火)	奈良電機重工株式会社 代表取締役社長 奈良 俊介	成長フェーズで変わる経営課題と実践の軌跡 ー地味な努力を続けていく大切さー
第11回	令和7年12月23日(火)	株式会社万葉社 代表取締役 佐々木 良	10万円で起業した会社は、広告費0円で どのようにして、売上2億円を達成したのか
第12回	令和8年1月13日(火)	株式会社中田養蜂 代表取締役社長 田中 祐	地域と関わり共に生きる企業 ー地域活動はボランティアではないー
第13回	令和8年1月20日(火)	一光電機株式会社 代表取締役会長 池田 晃	会社経営は未知との遭遇 ー波乱万丈も心構え次第ー
第14回	令和8年1月27日(火)	株式会社Japan Fruits 代表取締役 高尾 明香里	地域の宝を見つけ、地域を代表する事業へ成長させる
第15回	令和8年2月3日(火)	株式会社旺建 代表取締役 安守 直敏	香川ヒノキの根株の香り(精油)が人の睡眠にもたらす効果 について

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

いんぴと

INPIT香川県知財総合支援窓口令和7年度知的財産セミナーの開催

売上げUPに知財を役立てよう!知っ得! 商標権の使い方 おっ!得な特許・意匠制度

ビジネスでは業種に関係なく、商品やサービスの名称・ロゴマーク、実店舗やインターネットショップの名称・ロゴマークは大きく売上げUPに繋がります。売上げUPのために商品開発をする際は、効果や魅力的なデザインによる他社商品との差別化を検討されると思います。名称・ロゴマーク、効果を生み出す構造等の技術、商品のデザインは知的財産であり、知財を売上げUPのために活用した事例を経験豊富な専門家が説明するセミナーを開催します。既に事業をしている方、事業を始めて間もない方(スタートアップの方)だけでなく、創業を検討されている方にもお勧めです。

各回終了後、御希望に応じて、INPIT香川県知財総合支援窓口の支援担当者が個別の質問や相談に対応する個別無料相談会も実施します。ぜひご参加ください!参加費は無料です。

【セミナー概要一覧】

日 程	開催場所【定員】	テーマ(内容)	講 師
10月7日(火) 14:00~15:30	香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室 【50名程度】	「中小企業・スタートアップ向け知っ得!商標権の使い方」 商標権を取得したが上手く使えていない企業や、ブランディングに活かしていない方などに、知って得する商標権の使い方をレクチャーいたします。	 INPIT 知財戦略エキスパート 平林 篤哉 氏
10月28日(火) 14:00~16:00	香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室 【50名程度】	「技術・デザインの保護において、利用できておっ!得な特許・意匠制度」 出願するだけで得られるメリットをご存じでしょうか。また、特許出願後に発明を追加したり、意匠出願に変更できる制度など、利用してお得な特許・意匠制度についてレクチャーいたします。	

【申込先】 INPIT 香川県知財総合支援窓口
TEL.087-802-3650 FAX.087-867-9365 メール.chizai@kagawa-isf.jp

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 INPIT 香川県知財総合支援窓口
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-802-3650



知財ポータルでも
ご案内しています。
左の二次元コードから
ご覧ください。

いんぴと

INPIT香川県知財総合支援窓口の紹介

INPIT香川県知財総合支援窓口では、中小企業等が抱える様々な経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザインなどの「知的財産」の側面から解決を図ります。また、より専門的で高度な支援が必要な相談には、弁理士、弁護士等の専門家や様々な支援機関と連携して、協働して支援を行っておりますので、知的財産に関するお困りごとがございましたら、①「知財総合支援窓口(常設)」、②「臨時窓口」、③「窓口派遣専門家相談会」をお気軽にご利用ください。なお、相談は無料です。

①知財総合支援窓口(常設)

場 所 高松市林町2217番地15 香川産業頭脳化センタービル1階
(公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部内)

開設時間 月~金 8:30~12:00 13:00~17:15
(土日祝、年末年始(12/29~1/3を除く))

申 込 先 香川県知財総合支援窓口 TEL.087-802-3650

②臨時窓口

高松市 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワータワー棟4階・5階情報通信交流館
(e-とびあ・かがわ)内 Setouchi-i-Base(セトウチーアイベース)

小豆島町 小豆郡小豆島町片城甲44-95 小豆島町役場本館1階打合室2

丸亀市 丸亀市大手町二丁目4番11号 丸亀市市民交流活動センターマルタス

三豊市 三豊市三野町下高瀬2014-1 三豊市商工会(インパルみの)

③窓口派遣専門家相談会

開催場所 高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1階

開設時間 13:30~16:30

申 込 先 香川県知財総合支援窓口
TEL.087-802-3650

令和7年10月、11月の開催日

10月2日(木) 京和 尚 弁理士(特許・実用新案)
10月9日(木) 洲崎 竜弥 弁理士(商標・意匠・著作権)
10月16日(木) 山内 康伸 弁理士(特許・実用新案)
10月23日(木) 山下 宗一郎 弁護士
11月6日(木) 梅森 嘉匡 弁理士(商標・意匠・著作権)
11月13日(木) 洲崎 竜弥 弁理士(商標・意匠・著作権)
11月20日(木) 京和 尚 弁理士(特許・実用新案)
11月27日(木) 植野 剛 弁護士

開催日、開催時間、申込先等の詳細については下記のURLからご確認ください。

<https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/kagawa/info/details/>

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 INPIT香川県知財総合支援窓口
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-802-3650

「知財マッチングinかがわ 2025」参加者の募集

大企業等が保有する開放特許を活用して県内企業の新商品開発や新たな事業展開を図るため、「知財マッチングinかがわ2025」を開催し、大企業等との知財マッチングの機会を提供します。

日 時 令和7年11月20日(木) 10:00～16:00

会 場 香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室 他

面談期間 令和7年11月21日(金)～12月19日(金)までの期間(期間外も随時実施)

より多くの面談を実施するため、11月21日(金)から12月19日(金)までの期間においても、個別に日程調整し面談を実施することが可能です。(期間外も随時実施)

申込書



申込書、及びシーズ一覧は
2次元コードをご覧ください。

シーズ一覧



【シーズ提供企業等】

★今年度新たにシーズ提供いただいた企業

【一般企業】

- 株式会社イトーキ
- 一般財団法人NHK財団
- ★エフサステクノロジーズ株式会社
- トヨタ自動車株式会社
- 日産自動車株式会社
- 日本アビオニクス株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- パナソニックIPマネジメント株式会社
- 富士通株式会社
- ライオン株式会社
- 株式会社リコー
- 関西電力株式会社
- 九州電力株式会社
- 中部電力株式会社
- ★三和酒類株式会社

【公設試験研究所等】

- 国立研究開発法人産業技術総合研究所
- 国立大学法人徳島大学
- 国立高等専門学校機構 香川高等専門学校

【県内企業等】

- ★株式会社佐竹技研
- 四国計測工業株式会社
- 株式会社四国総合研究所
- ★有限会社日本環境電装
- ランデックス工業株式会社
- 株式会社レアスウィート
- ★(個人)林 則茂 氏

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

国際取引相談窓口の紹介

国際ビジネスに精通した経験豊富な専門家が、香川県内に事務所のある企業等の海外事業展開についての御相談に応じます。訪問相談はもちろん、オンライン相談も受け付けています。



国際取引
相談申込フォーム

国際取引支援アドバイザーの紹介



久保 克己 氏

専門分野は、食料・食品の生産者・製造者・販売者への輸出入を含むマーケティング活動



座間 安紀夫 氏

専門分野は、産業機械、化学品関連(医薬・医療関連を含む)、IT、IoT・AI関連、教育関連



藤田 仁美 氏

専門分野は、農林水産物、食品、食品機械、飲食サービス、化粧品

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 海外展開支援室
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F
TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

「微細構造デバイス研究開発フォーラム 令和7年度セミナー・見学会」参加者の募集

微細構造デバイス研究開発フォーラムでは、「新世代における自動車半導体センサの現状と将来展望」をテーマに令和7年度セミナー・見学会(2部制)を開催します。事前申込によりどなたでも参加できますので、皆様の御参加をお待ちしております。



令和6年度セミナーの様子

【開催概要】

日 時 令和7年12月11日(木)13:30～16:50

会 場 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室

※第1部 セミナーはオンラインでも参加できます

第1部 微細構造デバイス研究開発フォーラムセミナー

講 演 ① 「CMOSイメージセンサの進化と自動車にむけた応用展開」

講 師 静岡大学電子工学研究所 イメージングデバイス分野
教授 川人 祥二 氏

講 演 ② 「自動車用センサの現在と将来展望」

講 師 株式会社ミライズテクノロジーズ センサ研究開発部
部長 和戸 弘幸 氏

第2部 微細構造デバイス研究開発設備 (FROM香川メカトロ研究室)見学会

講 師 微細構造デバイス研究開発フォーラム 会長
一般社団法人電気学会 四国支部長
香川大学 微細構造デバイス統合研究センター センター長・教授
高尾 英邦

【申込方法】

右記のWebフォームからお申し込みください。
第1部(セミナー)または第2部(見学会)のみへの参加も可能です。
<https://kagawa-isf.form.kintoneapp.com/public/device-moushikomi>



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

かがわ発！ 元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発！元気創出企業」。
今回は、東かがわ市にある「株式会社FUJIDAN」を訪ねました。

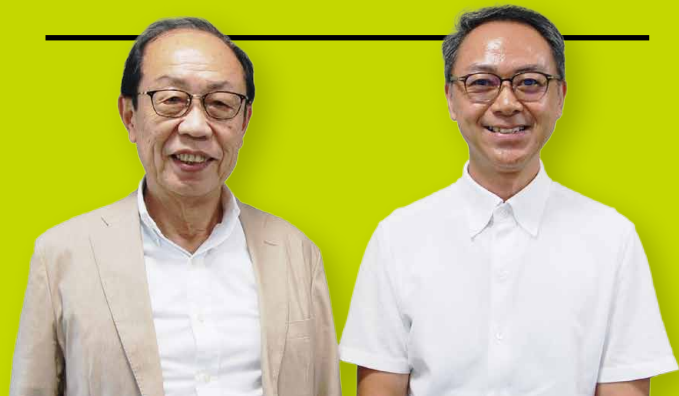


株式会社FUJIDAN

<https://fujidan.jp/>

所在地 東かがわ市白鳥1820
電話番号 0879-25-2381

軽くて扱いやすく、アイデア次第でさまざまな使い道がある段ボール。強度の高い特殊な段ボールなら、人間が乗ってもびくともしない。そんな機能性を生かした段ボール製の避難所用品を社会貢献の一つととらえ、香川大学との共同開発に取り組んだFUJIDANの本田社長と長谷川経営戦略室長に、お話を伺った。



代表取締役社長
本田 展稔 氏
NOBUTOSHI HONDA

経営戦略室長
長谷川 満 氏
MITSURU HASEGAWA



01

設備投資にも力を入れ、充実した製造環境

避難所でも快 強化段ボール

ユニークなアイデアが ものづくりの原動力

斬新なデザインや新しい機能性、きらりと光る遊び心。「おもしろい」をキーワードに、これまでにない発想の段ボール製品を次々と生み出しているFUJIDANは、付加価値の高いものづくりを得意とするパッケージコンサルティング企業だ。

世の中をアツと驚かせるアイデアを最大の強みに、設計・デザインから物流までの自社一貫体制を確立。小ロット多品種・オーダーメイドの柔軟かつフットワークの軽い対応で、首都圏をはじめ全国にニーズを拡大。右肩上がりの業績を堅持している。

近年の大きな取り組みの一つが、2023年から本格的に始まったBtoC向けのEC事業だ。副業支援サービスを通じて首都圏の人材から商品開発に関する意見を集めたところ、特殊強化段ボール製の家具・インテリア雑貨のアイデアが出た。

一般的な段ボールの耐荷重は上限約50kgだが、同社の特殊強化段ボールは100kg以上に耐える。箱形になると、同社の実験では車を乗せることさえできた。十分な強度があり、軽量で持ち運びやすく、組み立ても簡単で、最終的には資源ごみとしてリサイクルできる段ボール製家具のポテンシャルは高く、『どこでもこあがり』をはじめとする数々のヒット商品が誕生している。



02

本社エントランスには段ボール製の車や恐竜が



適に過ごせる 製災害用品



03

災害時備蓄用段ボール製品

赤ちゃん連れでも快適に！ 大学の知見に基づく商品開発

段ボール家具の知見を生かし、今年8月、かがわ産業支援財団の支援のもと香川大学と共同開発した「災害時備蓄用段ボール製品」の販売を開始。避難所経験者の声をヒントに、ターゲットは「赤ちゃん連れの家族」に絞り、ラインナップは新生児用段ボールベッド『dadda』・おむつ交換台『dapper』・授乳などに広く使える多目的部屋『danroom』の3種。

段ボール製の避難所用品はこれまでも自治体向けの販売実績があるが、「ややマンネリ化が否めない」と、経営戦略室長の長谷川さん。「各地で大規模災害が頻発する中で、我々にもっとできることはないか、新しいものをつくれなかと、大学とのコラボが実現しました。」

設計は人間工学や新生児医療の知見に基づき、生体機能を踏まえて赤ちゃんのケアがしやすい構造を追求。『dapper』にはケア用品やマザーズバッグなどを置ける棚を、『dadda』には小児科医の意見を反映して赤ちゃんがすごしやすい空気穴を設けた。専用のマットレスは高松市のふとんメーカーが手掛け、通気性とほどよいクッション性を備える。眠っている動物をあしらった『dadda』のグラフィックデザインは、香川大学生のアイデアをコンペ形式で採用したものだ。

今年8月から全国の自治体や公共・商業施設向けにECサイトで販売するほか、展示会などでもPRしていく。

自由に、クリエイティブに 未来を担う人材を育てたい

「父は漆器の木地をつくる木工職人でした」と振り返る、代表取締役社長の本田さん。木材をたくさん扱っていたことから、東かがわの手袋の輸送用木箱を手掛けるようになり、やがてパッケージ素材が木から段ボールへと推移するのに合わせて、社名も「富士ダンボール工業」と改めた。富士という言葉は「日本一」への思いを象徴しているという。

その頃から約70年。高機能な段ボール製品で新しいニーズを開拓するカタワラ、近年は高いデザイン提案力を生かしたパッケージ前の包装設計開発や、顧客の梱包作業の困りごとに対応する組立・出荷サービスといった、ものづくりの川上・川下にも積極的に視野を広げつつある。

こうした取り組みは、年々3%ずつ需要が減少し斜陽産業とも言われる段ボール業界で成長性を守る基盤となっているが、本田さんは「育んできた知見を生かして面白いものづくりができるなら、段ボールという分野にすら決してとらわれなくていい」と、あくまで自由に構える。

自身が次々とアイデアを出して開発チームを牽引してきた経験から、クリエイティブな人材を育てることを強く意識しているという本田さん。「私のノウハウを受け継ぐ若い世代の育成が今の課題です」と語っている。

新かがわ中小企業応援ファンド等事業 「Made in かがわ」 新商品展示販売会2025」の開催

当財団では、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」として、県内の中小企業者が行う研究開発や販路開拓に対する支援を行っています。

この度、当事業を活用して開発・販路開拓した新商品や新技術を広く知ってもらうため、丸亀町グリーンにて新商品展示販売会を開催します。

また、出展企業の素敵な商品が当たるガラポン抽選会も実施します。

地元企業が開発した素晴らしい商品や技術を、直接見て触れて、購入できる貴重な機会となっています。ぜひお越しください。

開催日時

令和7年11月1日(土) 11:00～16:00

開催場所

丸亀町グリーン けやき広場(高松市丸亀町7番地16)

出展予定企業

15社(出展予定企業の詳細は、財団HPをご確認ください。)

主 催

(公財) かがわ産業支援財団、香川県



前回(令和5年度)開催時の様子

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F
TEL.087-868-9903

かがわ産業振興クラブセミナー 参加者の募集

当財団が設置運営する「かがわ産業振興クラブ」では、会員企業の経営力向上と相互交流を図るため、次のとおりセミナーを開催します。

なお、会員以外の方も、聴講いただけますので、多くの方の御参加をお待ちしています。

日 時

令和8年1月19日(月) 14:30～17:00
(WEBでの参加も可能です。)

会 場

リーガホテルゼスト高松 2階 エメラルドの間

申込方法

参加希望者は、令和8年1月6日(火)までに、
右記申込フォームによりお申し込みください。
詳細については、財団ホームページをご覧ください。



内 容

[第1部] 講演(14:40～16:00)

【演 題】目標が人を動かし、役割がチームを動かす——日本フェンシング躍進の裏側

【講 師】宇山 賢(うやま さとる)氏

東京2020五輪フェンシング男子エペ団体 金メダリスト

株式会社Es.relier 取締役

スマートフェンシング協会 理事

[第2部] 会員企業事例報告(16:15～17:00)

株式会社フクシン

株式会社バル技研

参加する場合は第1部及び第2部の
出席が必須です。
原則、中途退室はできません。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F
TEL.087-868-9901

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
総務課
TEL.(087) 840-0348 FAX.(087) 869-3710
企画情報課
TEL.(087) 868-9901 FAX.(087) 869-3710
ファンド事業推進課
TEL.(087) 868-9903 FAX.(087) 869-3710

施設管理部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F
施設管理課
TEL.(087) 869-3700 FAX.(087) 869-3703
〒761-0301 香川県高松市林町2217-43 RISTかがわ1F
施設運営課
TEL.(087) 869-3440 FAX.(087) 869-3441

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL.(087) 840-0391 FAX.(087) 869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL.(087) 868-9904 FAX.(087) 869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM香川1F
産学官連携推進課・研究開発支援課
TEL.(087) 840-0338 FAX.(087) 864-6303
〒761-0301 香川県高松市林町2217-43 RISTかがわ1F
食品産業支援課
TEL.(087) 869-3440 FAX.(087) 869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F
知的財産支援課
TEL.(087) 867-9332 FAX.(087) 867-9365
知的財産普及課
TEL.(087) 869-9004 FAX.(087) 867-9365

